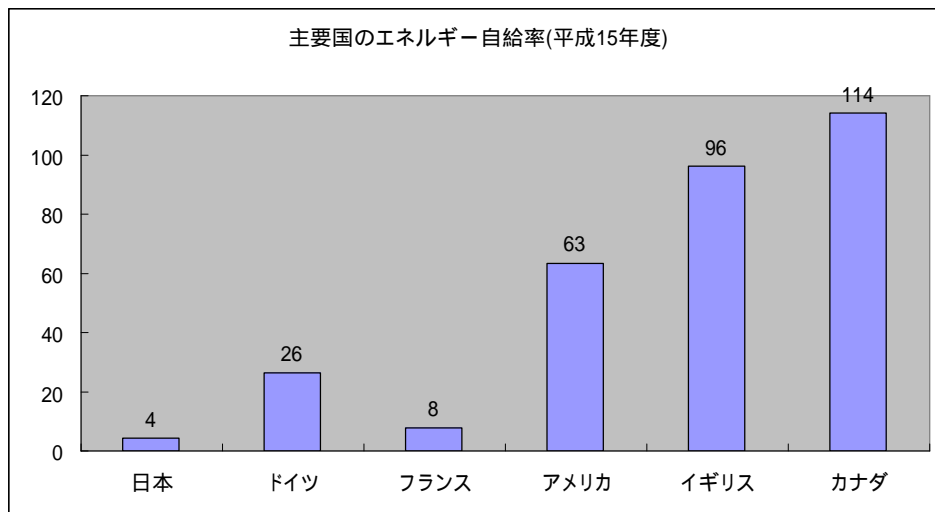


# エネルギー自給率 をご存知ですか？

皆さんはエネルギー自給率ということばをご存知でしょうか？よく似たことばに食料自給率ということばがあります。食料自給率は、文字通り自分の国に必要な食料が、自分の国で作られている割合を示すことばです。日本の食料自給率は、生産額を基準に計算すると平成17年度で69パーセントですが、必要なカロリーを基準で計算すると40パーセントになります。カロリー基準の食料自給率を先進国と比べてみると、アメリカで119パーセント、フランスでは実に130パーセントに上ります。あまり農業が盛んとはいえないイギリスですら74パーセントですから日本の食料自給率はかなり低い水準であるといえます。

## 食料自給率より低い日本のエネルギー自給率

ではエネルギー自給率とは何でしょうか？先程の食料自給率の定義に従えば、自分の国に必要なエネルギーのうち、自分の国で作られている割合ということになります。ただし、この場合日本は発電を自分の国で行っていますから、自給率の数字は、電力を作るための原材料を自分の国で生産できる割合ということになります。そのような基準で日本のエネルギー自給率を計算すると、何と4パーセントという驚くべき数字になります。



では他の先進国の自給率はどうでしょうか。例えばアメリカは63パーセント、イギリスは96パーセントという高い数字になります。しかしドイツは26パーセント、フランスは8パーセントと、他の先進国も必ずしも十分なエネルギー自給率ではありません。それでも日本の4パーセントという数字が食料自給率以上に極めて低い水準であるという事実は変わりません。

日本は資源に恵まれない国です。しかしエネルギーがわたしたちの毎日の生活を支えています。今後も安心して安定的に使えるエネルギーを見つけることはとても大切な問題です。皆さんも機会があったらエネルギーのことを是非一度じっくり考えてみてください。

おこのぎ八郎さんを支援する会

横浜市神奈川区反町1-7-1

TEL: 045(323)6000 FAX: 045(323)2974

E-mail: g00833@shugin.go.jp

<http://www.hachirou.com>